

社外重役

Selected Clients & Professionals Relationship

発行)株式会社ノースアイランド
 東京本社)東京都千代田区丸の内2-4-1 丸ビル10F
 Tel.03-3216-2004 Fax.03-3216-0439
 大阪支社)大阪市北区中之島3-3-23 中之島ダイビル9F
 Tel.06-6448-2004 Fax.06-6448-0539

F P

税務会計

190社が出展する「資産運用EXPO」が1月に開催 投資商品のトレンドを把握する絶好の機会!

法人税の申告漏れは9,996億円 法人消費税は税額748億円追徴

投資・資産運用に欠かせないのは上質な情報。能動的なアプローチが必要、かつ情報量も多いので、質を見極め、整理する能力も求められる。より詳しい情報を体系的に入手できる機会としてはセミナーやイベントがあるものの、やはり自分が関心を持つものに偏ってしまう。

偏りなく多くの商品を比較検討したい。そんなニーズに応じてくれるのが、東京ビッグサイトで来年1月24日(木)から26日(土)にかけて開催される「資産運用EXPO」だ。「日本最大級」と謳うだけあり、不動産、株式、保険、金など多様な投資商品が出展される見本市で、第2回となる今年は昨年第1回の130社を大幅に上回る190社が出展。これだけの数を1カ所で比較検討できる機会はまずないだけに、注目に値する。

投資信託やETF、FXなどの「金融資産フェア」、相続コンサルティングなども出展される「不動産投資フェア」、金、プラチナ、美術品などの「現物資産フェア」、保険やローン、家計相談サービスなどの「家計の見直しフェア」と、4つのジャンル別で構成されているのも、比較検討するには大きなメリット。会場内では96本のセミナーを同時開催。業界著名人によるプログラムも充実しており、セミナーを受けるだけでも参加する価値はある。入場料は5,000円だが、Webからの事前登録で無料招待券も入手可能。投資家のみならず、関連業界に携わるならばチェックしておいて損はない。

国税庁が公表した今年6月までの1年間(2017事務年度)における法人税等の調査事績によると、大口・悪質な不正計算が想定されるなど調査必要度の高い9万8千法人を实地調査した結果、うち約75%に当たる7万3千件から総額9,996億円の申告漏れを見つけた。追徴税額は1,948億円。調査1件当たりの申告漏れ所得は1,024万円となる。

調査した21.0%(不正発見割合)に当たる2万1千件が故意に所得を仮装・隠ぺいするなどの不正を行っており、その不正脱漏所得は2,891億円、1件当たりでは1,407万円となった。

また、法人消費税については、法人税との同時調査で9万4千件の实地調査を実施。うち、5万5千件に非違があり、税額748億円を追徴した。

不正を業種別にみると、不正発見割合の高い10業種では、「バー・クラブ」が66.4%で16年連続のワースト1位。「バー・クラブ」は、近年25年間で24回1位という不名誉な記録を持つワースト業種の常連。次いで、昨年と同様「外国料理」(48.1%)、「大衆酒場、小料理」(41.8%)と続く。

また、1件当たりの不正所得金額が大きい10業種では、「その他の飲食料品小売」(5,562万円)が前年ランク外から1位に、次いで、前年4位の「パチンコ」(4,929万円)が2位、前年1位の「水運」(3,806万円)が3位と続く。不正発見割合でワースト1位の「バー・クラブ」は1,320万円、2位の「外国料理」は448万円で、ともにランク外だった。

今週のキーワード

見本市

企業が新商品やサービスなどを展示し、販売促進に役立てるイベント。政府や公共団体、各産業界を代表する機関が介在するケースも多い。現在はコンベンション産業として、見本市開催自体がビジネス化しており、経済活性化の手法としても活用されている。